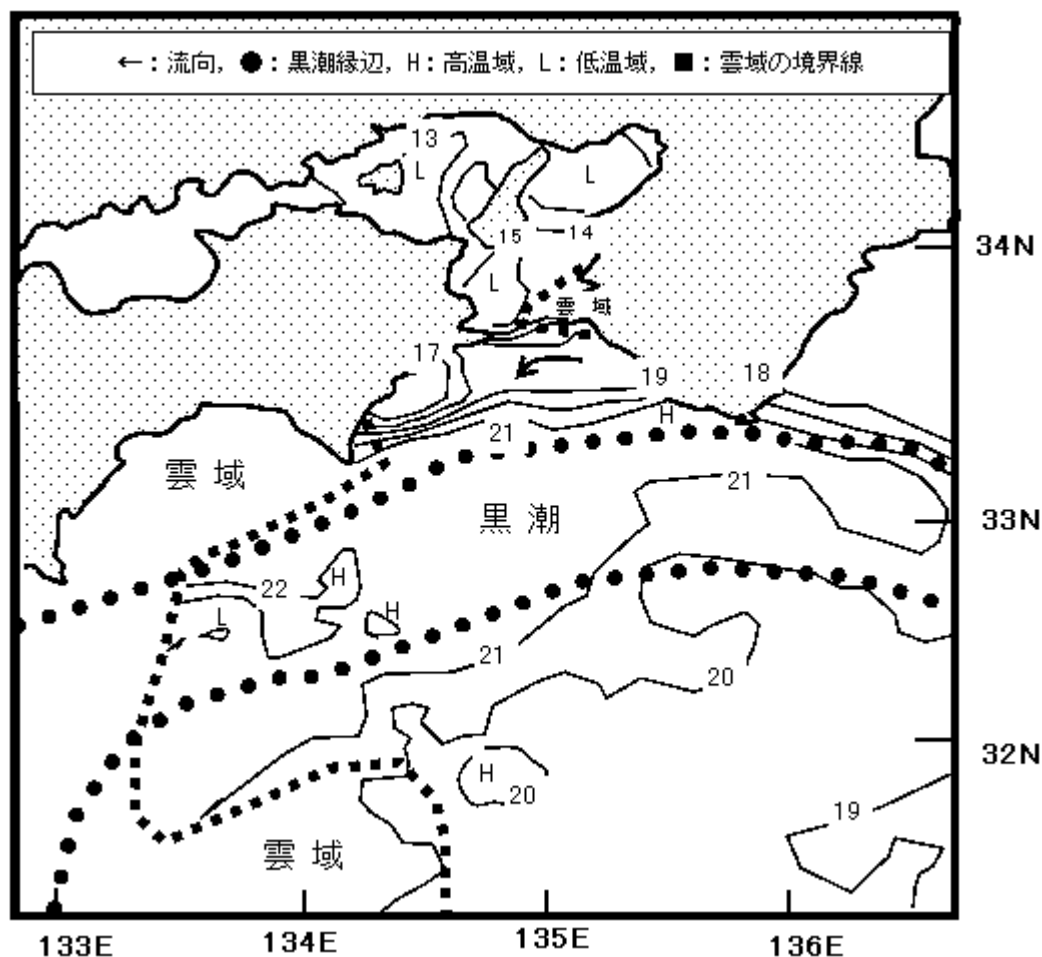


1. 海況の経過

1) 黒潮

4/20 発行海上保安庁海洋情報部海洋速報によると黒潮流軸までの距離は室戸岬沖では南東方向に20マイルで「接岸」、潮岬沖では南方向に15マイルで「接岸」。

表面水温は21℃前後。



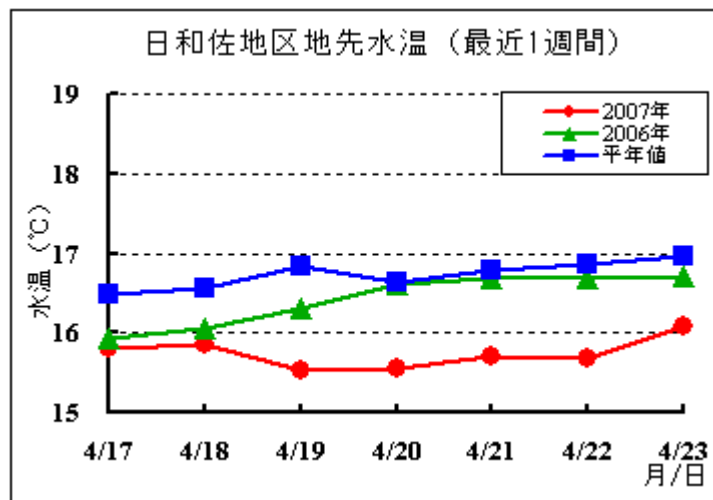
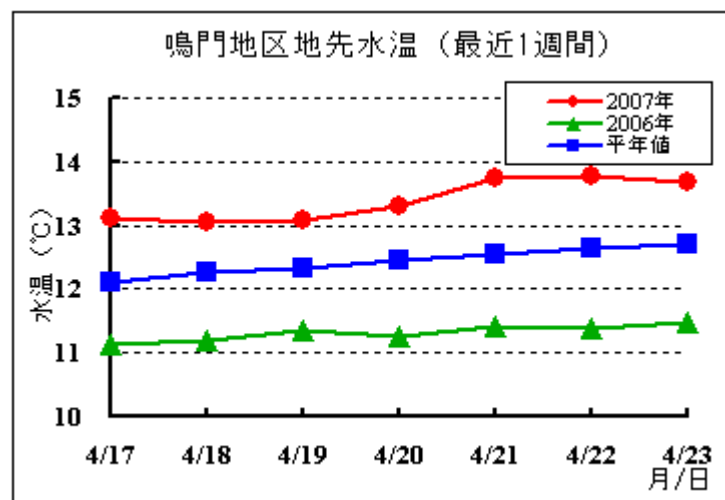
2) 海況

上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.4.20~21)を示した。

表面水温は播磨灘が12~13℃、紀伊水道内部がほぼ13~15℃であるが、入り口で16~18℃の潮目がある。水道外域は17~21℃であるが、徳島県沿岸部は17℃台の冷水域で覆われている。

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の13.0~13.8℃で、日和佐地区が「やや低め」の15.5~16.1℃で、牟岐地区は「やや低め」の15.2~16.2℃で推移した。



2. 漁況の経過

引き続き徳島県海域でミズクラゲ、アカクラゲ等が大量発生している。

小型定置網:海部沿岸で、スルメイカが3.0トン(1日1隻あたり49kg)、小主体にマアジが2.3トン(同59kg)、マイワシが1.3トン(同104kg)、キビナゴが0.7トン(同75kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、小主体にスルメイカが3.1トン(同313kg)、大主体にアオリイカが0.2トン(同24kg)、大主体にイサキが0.2トン(同23kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にシイラが1.6トン(同328kg)、ハマチが0.8トン(同13kg)、メジロが0.5トン(同6kg)、大、中主体にタチウオが0.4トン(同20kg)、海部沖合で中主体にカツオが2.2トン(同39kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが10.1トン(同116kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)4月12日～4月18日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		スルメイカ	62	3,013	49	
		マアジ	38	2,251	59	小主体
		マイワシ	12	1,252	104	
		キビナゴ	9	675	75	
大型定置網	海部沿岸	スルメイカ	10	3,129	313	小主体
		アオリイカ	10	236	24	大主体
		イサキ	10	234	23	大主体
釣り		シイラ	5	1,639	328	大主体
		ハマチ	63	788	13	
		メジロ	84	474	6	
		タチウオ	18	355	20	大、中主体
		海部沖合	カツオ	56	2,190	39
パッチ網	紀伊水道	シラス	87	10,075	116	

週間予報:

黒潮は、室戸岬が「接岸」～「やや離岸」、潮岬が「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の14～15℃、日和佐地先で「やや低め」の16～17℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでイサキが1.1トン(1日1隻あたり41kg)、パッチ網でシラスが113.5トン(同1トン)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが3.3トン、メジロが32.0トン、マアジが25.7トン、さば類が3.2トン、マイワシ3.9トン、ウルメイワシ3.8トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上